

■ Color PASSPORT 「C.No.」

診断された中で最も高価で重要な脳傾向指数を表す値です。

視覚色彩心理学で、脳傾向指数は、脳幹機能基準値を表します。

地球上の陽光に関する先人達の叡智と大陸の地域宗教学を含む数値変換可能な数々の学問と自然科学データから脳と身体機能に関わる計算法から算出されます。2,024年4月から内容を更に約30%向上させた旧DNA解析から向上させた頭髪解析と1953年からの太陽光データを融合したC.Noを導入して、各診断に適応した活用が可能になりました。

【活用可能な脳幹機能例】

- ・呼吸の調整・脳機能調整（記憶指示・行動指示・運動指示・他）・血液の調整（血圧・血流・心拍数・血糖・濃度・他）・体温調整（体内水分量・発汗・他）
- ・毒素排出調整（デトックス作用）・運動機能調整（歩行感覚・重心維持機能）
- ・ホルモン調整（男性ホルモン・女性ホルモン・その他の身体内ホルモン）
- ・自律神経調整（全内臓維持調整コントロール）
- ・五感機能（視、聴、臭、触、味）
- ・免疫調整（免疫維持・免疫闘争・免疫養成）
- ・メンタルの調整（ストレス分類・ストレス整理・ストレス活性）
- ・記憶調整（判断・分類・理解・整理）
- ・言語中枢機能調整（聴収・判断・記憶・発声・配信）
- ・全身筋力調整（筋力指示・鍛練記憶・体系保持・骨格保持）
- ・食欲、性欲、睡眠・起床調整